

研究機関：広島大学

研究課題名	松果体部腫瘍の術前鑑別診断法確立のための疫学研究
研究責任者名	医歯薬保健学研究科脳神経外科学 教授 栗栖 薫
研究期間	2017年8月4日(倫理委員会承認後)～ 2018年 3月
対象者	平成 15年 1月 1日から平成 28年 12月 31日までに、広島大学病院脳神経外科にて手術を受けられた松果体部腫瘍の患者さんを対象とします。
意義・目的	松果体腫瘍は脳腫瘍の 2-3%に過ぎない稀な腫瘍です。しかし、組織学的には胚細胞性腫瘍、松果体実質性腫瘍、髄膜腫など、極めて多くの種類の新生物が発生します。一方、それぞれ腫瘍毎に、適切な治療法が大きく異なっており、治療前に診断を確定することが極めて重要です。松果体腫瘍の術前の CT や MRI による画像検査結果と組織診断との相関が明らかになれば、不要な手術が避けられることとなります。また、組織採取の方法がより適切になることが期待され、治療上のメリットが大きくなります。本研究では、既に手術が施行され、組織診断が確定した松果体腫瘍の術前画像所見と組織診断を対比することで、各腫瘍の組織診断を示唆する画像上の特徴的所見を明らかにすることを目的とします。
方法	本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。 カルテから転記する内容は年齢、性別、松果体部腫瘍の診断、病理結果、腫瘍部位、腫瘍マーカーの値、画像所見（大きさ、視床への進展、石灰化、出血、脂肪滴、周辺浮腫、嚢胞形成、拡散強調画像の信号、拡散係数の値、造影所見、proton MR spectroscopy のパラメーター）です。 （個人が特定出来る情報は転記しません） 本研究はヒトゲノムに関する研究ではありません。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院脳神経外科 教授 栗栖 薫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5481 広島大学病院脳神経外科 講師 山崎 文之